

## 創世記1：1

1:1 初めに、神が天と地を創造した。

導入

今週から、聖書の中でも最も重要な書の学びが始まります。この書を系統的に、計画的に、そして科学的に学ぶのが大切な理由をここに3つ挙げましょう。

1. 創世記は、私たちを教えるために語られた神のみことばそのものです。そこには、私たちに知ってほしいと神が望まれる内容が記されています。
  - a) 私たちが住む宇宙と世界の起源
  - b) 男性と女性の起源と創造の目的
  - c) 罪の起源とこの世がひどい場所である理由
  - d) 罪に対する神の裁きの起源
  - e) 神の選びの民であるイスラエル民族の起源

テモテ第二3：16は、創世記が神の靈感によるものであり、私たちひとりひとりのために記されたと言います。つまり、この書から私たちのたましいに益となるものを得られる、ということです。

また、創世記の内容について誤った考え方をしていたら、創世記の書がそれを正してくれるとも言います。

私たちの住む現代社会は、神のみことばを人間が矯正しようとする社会ですが、もし私たちがもそのような状態なら、神は私たちの考え方を正し、神の考えに沿ったものとするのを望まれます。

創世記は、神がすべてのことをなさった方法について私たちの疑問にすべて答えてくれるわけではありません。

しかし、神は私たちに知ってほしいことを教えてください。私たちは、神が答えてくださらないことに執着するのではなく、教えてくださいと満足し、答えられない疑問は天国に行ってから楽しみに取っておくという姿勢を持ちたいものです。

2. 創世記を学ぶふたつめの理由は、創世記に記されたすべての出来事は聖書の最後まで一貫して起こる出来事だからです。

つまり、創世記は聖書の縮小版のようであるということです。創世記には、サタンが登場し、その性質が記されています。聖書全体をとおして、サタンは同じような手段で働きます。創世記に学ぶ内容は、聖書全体を理解する上での基盤となります。

本を読み始めるときは、最初から読むのがよいでしょう。もしそうしなければ、重要な物事や登場人物を見逃してしまい、全体の内容を読み違えてしまう可能性があるからです。新約聖書を理解したいなら、まず旧約聖書を理解しなければなりません。旧約聖書を理解したければ、まず創世記を理解する必要があります。

3. 創世記を学ぶ3つめの理由は、世界中のほぼすべての学校で進化論が教えられているからです。

学校教育で日々教えられている最大の嘘は、創造主はいない、私たちが従うべき聖なる神はいない、ということです。

進化論は確証がないにもかかわらず、ほとんどの人たちがこれを信じています。聖なる創造主なる神を無視して生きるほうが都合がよいからです。

この嘘を暴き、人々の考えを正すには、創世記から始めなければなりません。創世記は、進化論の嘘を知らしめる足がかりとなります。少なくとも、人々が聖書に示された根拠や現代の科学者が発見した証拠を考慮して進化論を正すよう促す材料となります。

創世記には、天地の設計の起源について、私たちが思う以上にたくさんの証拠があります。

世界屈指の科学者たちも、人間は類人猿から進化したのではなく、この世に存在するすべては超人間的設計者によってデザインされたことを証明する著書を数多く記しています。

自然界が目的を持って設計されたことを示す例をここでひとつ挙げましょう。それから、人間の膝を見れば人間がサルの子孫でないことがわかることを説明しましょう。

### キョクアジサシ

渡り鳥のもっとも長距離な渡りのひとつは、北極南極間の渡りです。このルートは長距離であるだけでなく、激しい気温差に耐える必要があります。この過酷なルートを往き来するのがキョクアジサシです。

キョクアジサシは、短い夏の北極圏で繁殖し、夏が終わると15,000kmを超える距離を南に渡って、夏の南極で過ごします。

体重わずか100gほどの鳥が、毎年これほどの長距離を旅することができるのです。

キョクアジサシの寿命は30年以上と言われ、生涯で渡る距離は約100万 km になります。

キョクアジサシの渡りの優れた点のひとつは、サテライト GPS などの高度なシステムがなくても目的地にたどり着けることです。

この小さな鳥はすばらしい頭脳の持ち主です。いやむしろ、この小さな鳥にこのような能力を備えて造ったお方はすばらしいと言うべきでしょう。

この小さな鳥は、旅の仕方を習得するために京都大学で学んだわけではありません。この鳥を造られた創造主はきっととてつもなくすばらしいお方に違いありません。鳥がこれほどの知性を持つように設計されているなら、そこに知的な設計者がおられるはずで、その設計者こそ、創世記で皆さんにご紹介するお方です。

### けれどもその前に、人間の膝にご注目ください。

とても複雑な内容をここでいたって簡単に説明したいと思います。

人間の膝関節はおもに4つの骨で形成されています。この4つが同時に一定の構造で存在することで、基本的な動作をすることができます。

膝関節は妊娠12週までに形成され、それ以後、構造が変わることはなく、ゆっくりと成長します。

膝関節の4つの骨は相互依存しており、すべてが同時に機能することで安定を保ちます。ひとつでも欠けると、膝は正常に機能しません。

この4つのおもな構成の中に、膝が機能するためになくてはならない16の構成要素があります。

一方、サルなどの霊長類の膝関節は、人間の膝関節とはまったく違います。

膝関節ひとつをとっても、サルが人間に進化することは生物学的に不可能であることがわかります。

進化論者は、サルが徐々に人間に進化したと言います。これは不可能です。人間の膝関節がその証拠を物語ります。

ではなぜ、進化論という嘘が世界中の学校で教えられているのでしょうか。

簡単に言うと、それが悪魔の好むやり方だからです。悪魔は嘘つきで偽りの父です。（ヨハネ8：44）

主イエスを自らの救い主として受け入れていない人々は、サタンの支配下にいます。ですから、進化論を教える人たちは、サタンの手助けをしているのです。

聖書が教える創造主なる神についての真理を受け入れ、神の人類に対する愛を信じて初めて、サタンの支配から自由になることができます。

ヨハネ8：32は、真理を知ると、真理が私たちを自由にすると語ります。

では、創世記1：1から学びを始めましょう。

聖書の一番初めの1節が、聖書の一番大切な1節でもあります。このみことばを信じるなら、他の箇所も信じられるはずです。

神が全宇宙を創造することができるなら、死人をよみがえらせることも、超自然的に処女を受胎・出産させることも簡単なはずです。

このみことばを信じるなら、他のすべての「宗教」を否定することになります。

また、どんなかたちであっても進化論を全否定することになります。このみことばにそぐわない物事は科学的に説得力があるように思えても、すべて否定しなければなりません。

1節から、3つのことを皆さんにお伝えしたいと思います。

### 1. 神が時間の概念を造られた。「初めに」

ヨハネ1：3を読みましょう。

ヨハネ1:3 すべてのもは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

ここには、すべてのもが神によって造られたとあります。ですから、「時間」も神がお造りになったというのは聖書の教えに沿った考え方です。

「初めに」とあることから、神は時間の概念を超えて存在されたことがわかります。神は、時間の概念がなかった永遠の昔から存在しておられたのです。

時間の概念がなかったときを想像するのは私たち人間には至難の業です。私たちは時間の枠の中ですべてを行っているからです。

この世で一番の賢者は、伝道者の書3章で、天の下のすべての営みには時があると語ります。（伝道者の書3：-8）

神は時間をお造りになる必要がありました。それは、時間の枠内で起こるすべての事柄を統べ治めるためです。神がこの世のすべてを御手の中に支配できるのは、神が時間を超越したお方だからです。

## 2. 「神が…創造した。」 (1節)

1節で次に注目するのは、「創造した」という言葉です。「創造した」と訳されたヘブル語の単語（バーラー）は、神の創造の業にのみ使われる特殊な単語で、人間の業には使われません。この単語は、前に存在しなかったものを造り出したという内容を指します。神が天地を創造なさる前、天地は存在しませんでした。

旧約聖書の随所に、神が天地の創造主であることを示すみことばがあります。そのいくつかを見てみましょう。

a) 詩篇89：12には、「北と南、これらをあなたが造られました。…」とあります。

b) イザヤ40：26は「目を高く上げて、だれがこれらを創造したかを見よ。…」と語ります。イザヤは何について語っていたのでしょうか。40章の少し前を読むと、天地について語っていたことが分かります。

c) イザヤ40：12

だれが、手のひらで水を量り、手の幅で天を推し量り、地のちりを枘に盛り、山をてんびんで量り、丘をはかりで量ったのか。

d) イザヤ42：5は「天を造り出し、これを引き延べ、…た神なる【主】はこう仰せられる。」と語ります。

旧約聖書の預言者は皆、神を創造主と認めました。

3世紀に作られた使徒信条の冒頭部分は、「我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。」です。

4世紀のニケア信条も、「わたしは信じます。唯一の神、全能の父、天と地、見えるもの、見えないもの、すべてのものの造り主を。」と語ります。

この話題を終える前に必ず覚えておかなければならないことは、神が私たちの創造主であり所有者であられるということです。

詩篇95：3-6

95:3 【主】は大いなる神であり、すべての神々にまさって、大いなる王である。95:4 地の深みは主の御手のうちにあり、山々の頂も主のものである。95:5 海は主のもの。主がそれを造られた。陸地も主の御手が造られた。95:6 来たれ。私たちは伏し拝み、ひれ伏そう。私たちが造られた方、【主】の御前に、ひざまずこう。

イザヤ書45：9

ああ。陶器が陶器を作る者に抗議するように自分を造った者に抗議する者。粘土は、形造る者に、「何を作るのか」とか、「あなたの作った物には、手がついていない」などと言うであろうか。

私たちがどう思おうと、神は私たちの創造主であり所有者であります。ですから、私たちの人生の中で神に栄光を帰す決断を下す権限が神にはあります。

## 4. 初めに、神が…

神がお造りになった世界に目を向ける前に、この神がどういうお方なのかをまず知る必要があります。

この1節で使われたヘブル語の単語は「エロヒム」です。この単語は複数形で、ひとつの神格の中に3つの位格が存在することを示します。聖書は、ひとつの神格の中に3つの位格が対等に存在することを表します。

父も御子も聖霊も神なのです。

すべてひとつの神格の中で対等です。

神がひとつであられることを示すみことばは50個所以上あります。

ここにいくつかご紹介しましょう。

申命記6：4 聞きなさい。イスラエル。【主】は私たちの神。【主】はただひとりである。

イザヤ45：5 わたしが【主】である。ほかにはいない。わたしのほかに神はいない。あなたはわたしを知らないが、わたしはあなたに力を帯びさせる。

テモテ第一2：5 神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。

神は唯一であられますが、ご自身について語られるとき、多くの場合、複数形を用いられます。

創世記1：26 神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をほうすべてのものを支配するように。」

創世記3：22 神である【主】は仰せられた。「見よ。人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るようになった。今、彼が、手を伸ばし、いのちの木からも取って食べ、永遠に生きないように。」

イザヤ6：8 私は、「だれを遣わそう。だれが、われわれのために行くだろう」と言っておられる主の声を聞いたので、言った。「ここに、私がおります。私を遣わしてください。」

私たちの理解力は非常に限られているので、神の三位一体を理解するのは簡単ではありませんが、新約聖書はこれを明らかにします。

a) 父は神である。(ローマ1：7)

b) 御子は神である。(ヘブル1：8)

c) 聖霊は神である。(使徒5：3-4)

ヨハネのシリーズですでに学んだとおり、ヨハネ1：3から、イエスがこの世のすべてをお造りになったことがわかります。イエスをご自身が神であると宣言なさいました。

これは信じられないようなことですが、真実です。

では、1節の重要ポイントをあとふたつ挙げましょう。

## 5. 初めに、神が天と地を創造した。

ここで皆さんに、これから宇宙船に乗り込むことを想像していただきたいと思います。

この宇宙船は、光の速さで飛行することができます。どうぞご搭乗ください。シートベルトを締めて、出発です。

はい、1秒で地球を7周しました。快適な旅でしたか。

さて、これから宇宙に出かけます。超高速の光の速さの旅は続きます。

2秒で月を通過し、4分で火星を通り過ぎました。5時間で冥王星です。

このような超高速でもまだまだ天の川の入口です。

最初の星にたどり着くまで4.3年かかります。つまり、4.3年間ずっと毎秒30万 km で進まなければならないです。

天の川を越えるには、このスピードで10万年かかります。

天の川はひとつの銀河に過ぎません。宇宙には銀河が1000億個あると推測されます。

そうです。私たちの小さな頭ではどうも理解できない広大な宇宙を神はお造りになりました。

2節から25節には、実際に神がどのようにこのすばらしい世界をお造りになったかが記されています。次回、この個所をともに学びたいと思います。

今日のメッセージを終える前に、大切なことをひとつお伝えしたいと思います。

この世のすべてをお造りになったすばらしい創造主なる神は、私たちのことをお造りになりました。

そして、私たちひとりひとりとつながることを望んでおられます。

しかし、このお方は聖なる神で、罪に耐えることはできません。罪とは、私たちが自分勝手な道に進み、創造主をないがしろにすることです。そうしていればいつか必ず、創造主なる神から罰を受けることになります。

そんな私たちを愛し、あわれんでくださる神は、私たちの罪を罰すると同時に私たちを救う道を造ってくださいました。

このお方を信じるなら、救われます。

ヨハネ 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

祈りましょう。